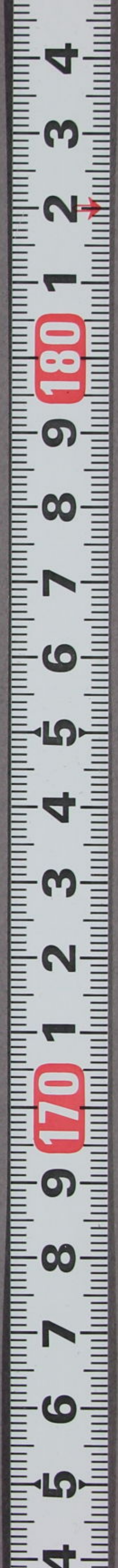


古今  
雜苑  
俳諧  
人名錄  
三編  
乾





芭蕉翁略傳

芭蕉翁并枕青翁之伊賀國河部郡柘栲村の

産也平土備平之持宗清の苗裔其類同郷之姓

を以て柘栲柘尾福地也柘尾儀在是なり人の子を

長男と名をふりて同土所赤石町并石所紀を

業として次いで半在是なり命清云孫為主殿長基の

臣なり三八之則芭蕉公なり



正保元甲申歲生此信也 幼名を松尾半七甚七郎  
又稱金作復更々志願の宗房と稱す母を藤女  
字和崎也産於地氏の女也孝

寛文二壬寅年宗房十九歳初孫を新嘉郎良  
精の信なる嫡子主計良忠女信ふ忠依名号  
蟬吟女村季吟乃山所不宗房と兩呼りあるを  
寛文六年丙午の夏四月良忠を幸ふて給世を  
辭せり宗房は悼同六月逆媛の供り高

野山報恩院の叔を同月末下山して我るに  
遁世の志ありて娘女にまをさるるに由り  
なげき其年秋七月遂に主家を断絶して同  
僚孫を美しき者此の戸に一封印のありす

其の屋を友や所より生かき 宗房  
夫を里洛より在京十年拾穂新再昌院信り孝吟

子遊學り

此頃東山の林苑に住し 伯永堂挑書り号りて字院信也



約月軒又宗茂より加へしと云ふ

寛文十二壬子行幸廿九月初より東民より小田原町

任給ふ小石川水樋功を造す 同十三癸丑九月改元

延寶元癸丑行幸三十同二甲寅歲三十一雜髪

孫正風羅坊号杖持子亮高島より松風齋

最重の志保より深川六甲堀より尾をまゝりけり

入まぬより何人孝下甚意を裁

と云ふは 栴く 先みよる此の二葉が

是より世人の 是甚意を

同三乙卯行幸廿二同四丙辰 同五丁巳

二百餘あり 翁行幸信徳し 伊賀の土著也日記

延宝四年の六月廿日 伊賀より 出又云

と云ふ 文月二日 武江

同六戊午行幸廿五菅菰およ今東海川の岸段

と云ふ 此説然しと云ふ 八条所の段なり

同七己未 翁松風西の百餘より 同八庚申の人廿日仙田舎







此時の道程を甲子紀に記す  
東海をとりて後逢坂の次を過りて  
同長月初都の御所を名所とて又旧里  
を出りて大和の郡の御所を里とて  
しりて大和の郡の御所を里とて  
おと原山城を獲りて近江の御所を  
相模川の本園を獲りて又  
桐葉の家を獲りて熱田の御所を  
入

けき後佛指五部仙の冬を集りて

十二月一日井をとりて又  
貞享二乙丑行年四乙丑家小年  
南都を出二月をとりて熱田の御所  
三井村風の御所を獲りて西の御所  
住上人の御所を大津の御所を  
近江の村を獲りて水戸の御所を  
高野の御所を獲りて家小の御所を  
熱田の御所を



等より信又相葉り信り至東海に別を  
持てし甲州に經る同月迄急流に朽風り  
別野に歸り給ふ

國守に西宮行幸早も川に在

古地に傳ふ水に好む

春の晴集葉の葉成る同月

常陸御來の本皆道悅者門に入る醫を學

る冬より川に舟を乗る舟を結ぶ葉を

多吹和儀の御記より同四年丁卯行幸 甲辰在菴

病の事所記の處に記する終り

志の如く精の上の御記終り

一月の如く下り給ふ處を出る根本寺佛に和尚の

許し給ふ潮来自筆言記の一月江戸の海又十月

初より給ふ御記終り又其時終りては續書粟

葉の如く海より一河の如く杜園の傳屋の如く

伊高吉崎の杜の如く舟の如く舎の如く終り



あまのついでに高き松の流るるのきり

此邊の山多しとて松の流るるのきり五層の松の流るる

再形庵廿名并廿名庵今いす松の流るる東松の庵西松の庵

貞享五年辰巳行年四月五日伊勢より信二月十日阿比

神崎山を越えしむる松の流るる松の流るる日良松の流るる

長く松の流るる松の流るる松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる松の流るる

同形二人の松の流るる松の流るる松の流るる

自稱して松の流るる松の流るる

松の流るる松の流るる松の流るる

大和の山今井梅井初松君坊島田三松多函崎

松の流るる松の流るる松の流るる松の流るる



征州より神山より南都に至りては、  
赴野波より源麿におもむ大津子越了本宮改<sub>ふ</sub>起<sub>り</sub>  
岐阜子至長等川松島氏の水橋お抱ひて記せし  
十八梅の名付く鳴海より名護屋  
八月至科の月えんと旅きのふ同行越人更科  
紀行を續けし年をえつる善光寺より越人更  
伴へ江戸おぬりてあまの依附ありて集まり今  
源川より鹿野宮と名

枯枝の鳥のやまより新の巻

元禄元戊辰九月改元 十月朔日より 源川在鹿野行年 四十五  
元禄元壬子改 元禄元壬子改  
同二日に此書曠野集戌奥羽の旅お起し信が  
人へ譲りて松風の別墅に編む同行曾三三月廿七  
舟より信不至り其の季かへ一宿室おし信不詣  
三十日史山の林苑仙吾をへるまに舎卯月朔日  
清山より詣  
阿蘇よりて書集末葉よりお起る



















芳新はめ

宛らうと意たう候や雪共枯屋乙

比冬橋町小園居候

元禄五申行年甲九桶町小越年其角山風雪

と對

其の年と云ふはとて也草共候

比頃許六入り深川の若井再ニ興ある人孫と

栖とあり候許も人ぬかた子孫は詞を九月

浪蕪の酒を深川に於て仰せ有深川集

許ありと云ふは天

のふんり人此は候は

元禄六陰雨の年五十雨路治らひ候友許あり

と云は候り候又送別辭を秋園に書け候

十月の事を書き置草園の趣

元禄七年甲戌行年五十一深川に在り

草葉の月間とて伊勢に初便



彦儀集成子生お集成子五月洛母到四巻結

〜洛母の子産まぬ〜

五巻 龍戸井の子ぬる老手筆

延宝二貞享三同五元禄五竹香四巻の事

夫より東海をへし〜海軍の至道あの人

夢の秘蔵ちかひ〜

屋敷名簿を為字と読美濃の栗田大極子川

尋ねる名も〜

伊賀に越又洛か去来り嵯峨の別荘を訪支高

く東山の字布に松毛秋木曾塚に帰るは伊賀

見松尾半原〜

〜

〜

〜

浪華〜

〜



と又車康と又園也

とて此の十日の事なり

世に清水の茶店に於て世に又遊止る事あり

妹も此の儀に何事も人なり

芝柏の招きも此の事なり

りんごの事も此の事なり

櫻積り侍りて此の事なり

大り此の事なり

此時先病の人の事なり

吾舟次第に此の事なり

以て病の事なり

親友の消息も此の事なり

之れも此の事なり

乃正康各事なり

旅の事なり

と云ふ事なり



多きふれ病草なるに於て都く人の文選  
物お沙汰有り 十一日夕其角止る。其相も  
候より本堂に於て坐す。我生れも此の  
道りぬを愛中水宿寺樓の身は此の業  
とて傳ふらう何れ果てぬあはれ只新  
きも其業あり前那も傳ふるを  
ありしものみ其後を左の人の  
きなり書成焼てあはれ物なり

十二日申す初より候りぬ。蓮は  
所人おかし。涙を流す。其夜亡  
ぬる長櫃に入川舟舟乗し  
着す十日。遊菊の石曾塚の世名  
多し十四日を埋葬す。定むる  
所人親友三百餘名あり。葬  
石碑 芭蕉翁 僧丈草之筆

元禄七年甲戌冬十月十二日



故郷塚之伊賀の上野カ不動院ノ且自然石

芭蕉枕書法師 碑面 嵐雪書

抑山略記ハ其旨抜 善けらハ其行住

歳時考又ハ幻意湖中ノ著り也 侍也 伊賀

伊賀志出芳々好住生臥き志 其る日記也

其母々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

先あらう々々々々々々々々々々々々々々々々々々

志あらん々々々々々々々々々々々々々々々々々々

其々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

嘉永四年辛亥秋

東都 惟竹庵 惟草 識

法眼 恭尚 正統 朱義 書



藝園僑潛人名錄之海

東都

惟草莽惟州輯

江戸丁極 幸向氏 條款在入九江

拓中 現中 產社 古中 自 游 清

立酒性 一具庵

另 新中 了 了 結 了 子 云 其 以 一 具







江戸橋丁三丁目

梅之幸

警中 古紙の巻物をとり新書

高山

甲州延山中丁 宮橋梁

池上

冬枯も刀を磨き山を歩かす

伊織

尾張名産益屋町 珍屋西店男

任只富

花のり紙 あり〜あり 的紙

一清

仙臺園分丁十九軒 宮下伊多郎

紙取屋

せりま 一人やちゆも居つゝ

一止

佐分上 那羽羽場村 跡津莊藏

新羊堂

春風 向て海乃白ひり

雄考

江戸橋丁三丁目

藤子川上門  
正徳寺 挿花

棟梁富

扇 古巻々 ありや 小巻紙の部 多

一集

立派丁 巻々 倉村田氏

例去録

ふま せりま ねんや 巻紙の音 計

邑敵

生る巻丁三丁目

川村正之助 画

巻紙

古巻紙 あり 巻ら 巻く 巻た あり 巻

一芳







江戸本焼丁一丁目

可布庵

新熟人々を習人たりる 余等より那 色洞

松前城下 杉本甚高 遠所居挿花持南三葉 池坊早一母守信高号細齋 千住庵法橋

掃床し々袴袋うらぬ 冬玉梅 一旭

江戸大橋下二丁目併工極切結草の 千那亭

歳多々のむらう持出は月見の南 一刀

相前城下 山田交寄赤の 峩々亭

松之麓中 柳の刀中る 家のららぬ 陽山

江戸本焼丁 増田氏 二筋屋下筋 盛和堂

ふらふらと世を連らうり 夕暮る 惟儼

立古河藩 杉浦氏 映翠庵

ふゆのやまをうらふかき 羊 有雪

江戸油屋 一具庵經

古く熟の山甲をうらふあゝ 宮井 夷別

加賀金沢藩下紙屋水路 葵園舎

まゝく 水敷田をうらふ 梅の 悠平



江戸浄土 羽前秋田久保田藩 山田氏 春 齋

常々くすあぬ多しあり 齋のあはれ 一 鳳

主下若 山上氏 画 游 文

暖くく結らるる 暖く中 菊の花 客 富

主久重門下 前法海上所法法秀朗 惟一 齋

有明千もくりある中 枝 柳 惟 一

主昌正橋外 清水氏 葎 齋 舎

暖のあはれ 眼のあはれ 暖く 中 枝の海 透 踏

主桂玉子化 葉 車 川 上

小のあはれもあはれ 中 枝の花 渭 白

主古國おま丁角 偏屋茂実 吞 左 良

水仙中 多量のうへ中も 二 二 卒 一 杯

主向折系 佐佐氏 一 草 庵

具々より中も 中くたう 一 草 庵の山 一 夢 子

主溪町山御井戸 川合氏 一 樹 舎

客のりくあはれ 中くたう 踏 一 川



江戸松島丁

相撲年寄

路方江の志く呂くまきく初茄子 入間川

立吉原系町 国本製店 為菜園

所枝く餅くさくさく初まきく 一水

武蔵序嶽山 弓場末女 千代庵

封の千ぬ枝の 湯くり 蓮の香 一笑

伝抄相系 故人 松借寺

松蔭下く藤く巻く 市千 解州介 一茶

六石田所丁 毛利氏 白岩舎

多く居敷く江くく日く初中 梅折 一氣

近江日野産 武蔵多橋産 園崎邦之助 橋月富

ゆく秋中 一羽く初中 帰鳥 一菱

江戸報友店 細谷氏 比家庵香道 至善庵

老きく日 我考くくくく魚子 雄茂

立治学究吉丁 終本没吉 舟西家

心く月子ぬまき巻く形き 初山く角 造丁



お州長柄形村 熊沢仙吉 四方通家

道長平 少長を成教の鬼の形 一 庵

東上流夫沼郡内流石 吉清の巻 好文章

子と花結露もさきく 寺河 茄子 一 寺

江戸流名寄町目録 正徳遠州法桐花 菅月富

山家山中 秋戸 内建之 一二三人 一 哲女

文書序門内河終篇 秋野京吹 詩 一二三人

見河名中も又名河 市々もふ二の山 一 案

上山若橋四 谷号 巽庵 草 子

春平く 春平の結文平 形 一 紅鳥 一 丸

桑河村若橋山榎下 遠州流桐花 主簿 通称池田 菊志 聴 雀 庵

主 形 一 形 子 之 枝 上 中 一 女 結 文 一 嘯

主 長崎屋林活 形 桐花 長 菊 庵

く 結 中 一 菊 庵 の 結 文 也 形 子 一 一 形

江戸流 戸物丁 板木 彫 板 去 之 堂

春 一 中 一 河 中 一 田 神 の 春 日 外 飯 田



近江の人 故人 多岐氏 画 北意翁 英法香

ぬくまを中 的たつりり 香の如 一 樟

江戸生花活本 画 菜 七十一更

ぬくまを中 香もよる 遠出の 一 樟

主様山下 目新道 齋菜翁 号己千

立寄りの水り 谷りりる 子なる 石 井

主寄 圃本活本 画 宗一 葬 自芳子

あつりり 中 なるまの 葉の 芽 跡を 惟 川

主本町二丁目 雁皮紙

ぬくまを中 世より 求なり 梅 柳 今 井

主寄 草抄 極林香格 香川氏 筆 推考 香見 禰 弁 舎 久

暖まをい つまかき 川 菫 中

主寄 香丁二丁目 山形 彦彦 香 香 瑞 新

管 新 中 竹 なるまを 香の如 一 止

主寄 川生花活本 當世 彦彦 助 在 向 出 仕 惟 亭

新 瑞 穂 うまの 水 降 香の 如 田 舎



江戸傳子新書載

梧桐亭

藤亭 山城江中初々々々 一圃

石州那賀郡後津村

山根俊襄

松久春々々々 一圃

江戸伝子新書

真月齋

結々々々々々 一院

近江日野中山位  
生武藏國高橋藩士

園崎邦之助

清海の庵

橋月齋

後述之もより 一院

江戸傳子

笠守

見ゆゆゆ 田岐雄

安永元年秋保田本郷村

高濱氏

春高齋

新記々々の 友旌

江戸傳子新書

東明堂

梅蔭舎

千々々々 有隣

難波伝言

無碍寺隠居生戸 筆

春老齋

松久々々 春老



江戸新田久松島四丁目落地

傲古島

此島つらつらひもよ〜島梅屋の申

以一

五元若計テ

貯蓄家数

薬店

み〜の島田島島新入〜島〜島〜島

和泉屋

主信町元若々舎

毎の産

白雲の山〜山〜山〜山 浮生可南

遊子子

主五子飛鳥山下

海老屋

海老屋

海〜山〜山〜山〜山 花

友補

武多西玉川道ま梅名

大島実樹直吉

お〜山〜山の松の松の松

一好

江戸箱崎三丁目

相持屋全巻

柱

園

う〜山〜山〜山〜山〜山 時雨

一好

相州西浦坂

白井英伝

長春亭

星〜山〜山の山〜山〜山 山

一葉

江戸新田前天王町

吉田氏 田舎字一石巻

山〜山〜山〜山〜山 山

雄花



江戸清川宮橋尾徳組屋敷 觀世修作 耕月庵 号苦庵

素くそりけりし子ありあはれりし 由地

立寄草新煙林香格 黒川源吉郎 白輝翁

交菊や菊はかゝぬ活る事 一関

立寄草三丁目 葉店いりや吾爾 東泉堂

軽舟けりきりしものやふり事 一生成

立寄草 夏目氏 齋岡 遊軒

居りつけりしものやふり事 以寧

阿波 橋本四軒町 由屋源吉 紫原房一 車又

初語下り居事ある 一鳳

立 一鳳号

移らばさしりるやさるるのけりし 一車

此羽社田平菴於角石川 地王氏 東斎 紫雅堂

月のおきし年々 枯雪水 涓涓

羽州本宿舊 早坂小深吉 山下養

兄姉しそ月年 吹きき 舟帳外 一葉



下毛今市

号益波

龍野東秋波北明舎

吾子や龍之穴しき水の聲 一 彦

江戸本所三丁目

窓月夜

活河舟も水もも流のしきあひけり 一 由

立本所一丁目 上田屋

田月夜

水橋や一葉もまきぬ活るるし 一 彦

武洲嶽山

信柳舟宮

雲川亭

了然庵のぬきも然揚や空の月 一 彦

信州水内郡岡野村在江ノ 流以云 久茅葺

阿と大来し人走ると川柳の形 惟好

江戸

雲水

神鳴り遠き舟のりて 水橋 由也

立本所二丁目 お向

窓月夜

木の甲久の月のおとと 舟のり 彦 芥 輔

立本所五丁目

儒

萩野

ふ月を望みし月形とん 木見の生 容 翁



江戸系井町 尾巻家書画号一章之川女左郎

あつたてりわはるる物 ねり〜〜 惟雀

五八丁好芽場丁 画 高橋

古形由中さるる千の道子袖〜〜 雄直

主殿倉所所 高孝氏 喜色庵

茶心もまをま介と書名の少少〜 一因

糸川所一橋通り 柳花 号我氏

水仙館松〜〜 床乃柳〜 又胡

尾巻松子書

小有軒

屋うけ子松〜 雜本中 初り〜 呂川

江戸小松中ふ力丁

現在庵

古月〜〜 乾本ふち形中 柳〜 魯心

多喜富川丁 瑞因結書画 画名 文一 籍茶園

初度子平 漆のうへと 籍の形 漆 漆

遠海中泉 松田登右之助 松田

舟橋〜〜 松枝りま かつま〜 若菜

口







陸奥國佐野藩書

五波宮御書

麦畑千二回送中一筆

若山

江戸年出カ口故 石原氏

古真堂

心造一筆千中一筆

警船子

立四谷坊書道 陸奥藩書

候水鏡

本一筆一筆千中一筆

弄楊

立下谷之枝橋 西村氏

花禁舎

居於新島中一筆

治北

常陸江戸橋 小林平吉郎 國學在歌 俗社橋立 立言字橋所

世の事を知る事

縁樹園

江戸藩書芳冊二丁目

李園文京花笠

古法名をあり

魯成

豊前小倉

長井野助

松風軒

漢古法名をあり

芦雀

江戸 對馬藩 名堂氏

名累五

江戸藩書芳冊一丁目

三

六草虎

四

三



糸本洞原研考古 梅井氏 方圓居

我々ハナハのまきむら九々々 龍吟入 周新書 梅 室

江戸 踏崎社

引寄古くかく戸打く中 月々梅 杞 儀

立休田々研考古 目新書 美秋葺

自々々々々 龍吟入 中々々々々 梅 室

立休田新葺屋丁 佐藤氏 六々葺

立寄古くかく戸打く中 月々梅 杞 儀



江戸本所才一橋路

料字尾

水ノ序をうゝく刀を平落の臺 方有

豊前小倉表の節

松田

倉の立の節 節のうゝく 節のうゝく 梅序

江戸本所才新橋路丁 伊勢屋と名取 翠涛園

古の節 梅のうゝく 水とくく 水とくく 万頃

立道板の上富吉の節

松本某藩

戸川結吉 白梅園

水とくく 水とくく 水とくく 水とくく 梅年

後編の付箋 半圓式

探芝尾

ついでに水とくく 水とくく 水とくく 把菊

江戸本所才 水とくく 水とくく 水とくく

水とくく 水とくく 水とくく 梅葉

行 併

吾妻某

善うけく 水とくく 水とくく 水とくく 波 回

新編の付箋

水 秀

水とくく 水とくく 水とくく 水とくく 白花女



江戸池之端 婦人 書 中根

蓬の香中 香ききりきり 花 山 生 碑

立木園本は丁 画 花村

籍の志のきこく 花 山 抱 山

立木川 橋一の香居 信秋

梅の香中 香ききりきり 梅 子

立木園本は丁 香餅を 標と

月夜より 香ききりきり 羽衣

下流船橋九の市 上流屋を居る 関と香

初日 朝乃なるも 香 庵の香 梨店

江戸本所おきり 香 富

香ききりきり 向の香ききり 白 記

立木園本は丁 丹羽氏 香 庵

筆の香中 香ききりきり 白 雨

立木 香 甚 庵

引 明中 香ききりきり 香の香 梅 山 女



江戸海子小揚丁 三折式 浪鏡園

澄水やつらつらうらうら 霧の海 菊吹

五 一時葬

笠のつらつら茶の屑をまき 氷の串 柏樹

五本丁 河原氏 在入 寺有舎

尻多々 尻多々 和女や 煮の才 寺有

五 寺務部中 寺子目 捨物所 寺務部 務掛舎

おはな 菊吹の歌のよもぎもつら 菊吹 花 菊古

東新丁二条上 徳屋古馬 麦慰舎

樹 朝中 一夕あり 紅雲のたつら 梅通

難及江戸海子 芦舟庵

教 小寺の歌のよもぎもつら 空の月 白鷗

下江新橋 徳屋 在入 務掛舎

壺 赤く 舞もあつらひり 氷 白氷

江戸 三浦公 在入 心算舎

后の月 口蓮 生るる 梅病子



江戸橋山寺目録

石横寺通 芳造

本願寺上人坊主上杉氏住持の寺

寶文堂

奥州盛岡

野邊地市寺

竹堂

高僧より圓を好む中より此寺

梅甫

武州多摩郡深谷村

業尊寺

新尊氏

月休葬

寺に於ては此寺の遺蹟を中興せしむ

梅仲

上毛新田庄

高橋

雪 意

外の新々つては中興せしむ

梅辰

浪花

丸人

外膳

羽黒山中寺に於ては此寺の

万和

江戸橋山寺

兜五郎

本門

初志山中寺に於ては此寺の

範成

文庫山中寺

古江精三郎

花 寺

寺の山中寺又新々つては此寺の

春 彦

文庫山中寺

徳 彦

二世

一 寺

山 寺 本 寺 の上 寺 あり

芳 笑







江戸日本橋新巻下

梅巻園

柳ありて海客門へく先の色

紅巻

北海板石山村住

志楽園家

老巻新

橋人のくくくくくくくくくく

巻圃

江戸東所金後堀

画 村田好南男

貞三郎 少年

遠くくくくくくくくくくく

梅坡

江戸津田新巻下

年々巻

月影くくくくくくくくくく

梅巻

本巻おむすくく目

井筒屋は巻巻

抱月巻

くくくくくくくくくくくく

梅柳

板巻板石巻江巻川下平野巻巻

水月巻

手ぬくくくくくくくくくく

梅巻

江戸中橋南巻下

江戸橋園

板巻巻巻

梅巻

くくくくくくくくくくくく

紅巻

万里

板巻板石巻板下

玉屋巻巻巻

古巻

巻巻巻巻巻巻巻巻巻巻

梅

巻

巻巻巻



紅梅の香の松の川下

畫名芸

田崎

古梅情日

紅梅の香の松の川下

梅溪

甲斐の山の上町

梅の香の松の川下

一字屋

字の香の松の川下

梅旭

紅梅の香の松の川下

梅の香の松の川下

松の香の松の川下

梅山子

文室丁

室伏梅の香の松の川下

梅山子

名月亭の香の松の川下

梅山子

下流押所

八重虎

照射の松の川下

汎翠

江戸の松の川下

遊中廬

雲の香の松の川下

春世

立池の松

中根氏 畫篆刻

墨仙

又の松の川下

守嶺

立市と松の川下

中西立松

立松亭

志の松の川下

芳山



武州桂原仲所

大島信吉梅吉

清容堂

秋の更々素多き月の光に梅 押 梅 棠

磐城龜山藩

お田之吾 月琴画

勉 齋

松風古梅ありあり月の光に 梅 屋

江戸宝町一丁目

坪田氏

泊 堂

梅の香千の法問や梅の影に 梅 峨

三浦孝徳井丁

心學梅以 友人

飛 田 公之助

八十路梅よりよりの梅の影に梅の影に 白 梅

江戸三條橋松町

鈴木宗休

梅歌

半新庵

白と梅の影の香に梅の影に 半新

上野二原二丁目長 米岩孝吉の梅歌  
在江戸本町二丁目米林城格米泉吉

出 斎

雨の勢あり梅の影に梅の影に 梅 遅

佐州宮井飛松井村

佐米孝吉齋

岩 齋

春の梅の影に水梅や梅の影に 梅 春

江戸三間堀五丁目

鳥羽屋

清 齋

草の影に梅の影に梅の影に 巴 雪



佐渡相川

通稱平五郎

梅嶺舎

梅嶺舎のりく、明秀、松本、新子、初

梅嶺

江戸、赤川、井、天、神、星、聖、次、郎、地、面、村、津、久、八、點、商

道、芝、の、ま、ま、ま、ま、ま、ま、の、雨、二、日

梅青

浪花之産

儀、美、之、線、在、江、戸、花、澤、伊、左、衛、門

り、け、る、ま、ま、ま、ま、ま、ま、の、友

花沢

江戸桶所

細井氏

大膳男五方

元、日、中、一、年、ま、ま、ま、ま、ま、ま、の、角、田、川

半子

後沼津藩

程田氏 号日自庵

折々園

初、ま、ま、ま、ま、ま、ま、の、お、り、ろ、ろ

萩庵

江戸日本橋万所

雁皮紙

乙、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、の、あ、ろ、ろ

榛原

立極苗

友人

醒升舎

我、影、を、ま、ま、ま、ま、ま、ま、の、枯、雪、川

栢葉

立井山登子板上

山崎氏書

完 為

水、多、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、ろ、の、せ、る、浮、舟、小

樊園











江戸宮丁二丁目

茶店

千茶堂

見世のまゝにりしやうにけりし嘉祥食

西村

立本保善堂所

伝世氏

壽自庵

土門のまゝにりしやうにけりし相一茶

丹丸

立原町

笠間藩 小森信吾 篆刻 恒蓋

河内守のまゝにりしやうにけりし若きる若

日谷

おあそび人 居格

在入

のまゝにりしやうにけりし若きる若

元 北

金城

鷹上 在入

趙年臺

壽新秋のまゝにりしやうにけりし若きる若

北 枝

江戸

在入

詩

墨江徳者

幸一中七のまゝにりしやうにけりし若

徳 徳

鵬 高

立原倉所 在入

田川

掃光のまゝにりしやうにけりし若

唐 朗

林



江戸上野丁二丁目 什器仕立屋 小春茶軒

志々上野一丁目 照々川 茶茶茶茶茶 本 公

志々上野二丁目 照々川 茶茶茶茶茶 深 色 富

小一里下 藤 凶つゝの 中 杉乃 花 浦 氏

江戸上野丁 嘉丹田 茶葉店 茶茶茶茶茶

小一里中 茶のり申々々々の音 牧 子

志々上野今村 杉市式 画 抱 常 産 男

静のりやう々々々々々々々々々々々々々々々々 蒲 何

江戸上野市 茶茶茶

星 嘉 菴

上野市今村 杉市式 画 抱 常 産 男 北 因

長谷川市 茶茶茶

橙 菴

本を つゝの 風の 茶茶茶 茶茶茶 南 舊

南 德 九 十 九 里 小 杉 村

推 室

秋 本 を つゝの 風の 茶茶茶 茶茶茶 星 隆

江戸上野市 茶茶茶

南 德 九 十 九 里

星 霜 庵

志々上野一丁目 照々川 茶茶茶茶茶 北 正



江戸芝居目所 大文保齋 墨房庵

之類と云ふ所をさしあつて阿南守り 北庭

立麻弁がせんが 有泉金助 墨首庵

廿門のまゝをさしあつて表の目 北貞

江戸 幸新屋丁目 尾田氏書 天崩草

於てあるは板中 柳の枝のうら 墨菊

江戸新丁目 伊勢屋吉次郎 梅齋堂

新屋の類と云ふ所をさしあつて 北嶺

横濱新屋 十一屋次平 相傳草

むらさきの上のうら 水のうら 浦山

江戸總倉町 柿澤

つとまのうら 水のうら 周成

相州戸塚法華陣 澤田氏 華草舎

五組のうら 月夜 元井

江戸山城守 津國屋藤次郎 号何西舎

法塔のうら 居守り 坊留寺 卜枝

木

三



江戸藤井之河屋住

星辰教

鳴鶴ふらけ暖しつゝあり

北進

五

星窓棧

沙汰のふみもくし申る

北橋女

五

星威堂

日比野の水子うららけ

北舞

五市所は竹橋後

疎月亭

人あゝあゝあゝの常の物さるゝ

歩吟子

誠後新傳

十一屋大年

和清庵

志守結よ子子形影也るり口甫ふ

江戸藤井之河屋住

和泉屋

別号之書き

月井

おのの教進り月の暮の子

蓮宇

相所戸塚新中津

津辺氏

華之茶舎

おはれもいふておはれもいふて

元井

未

三



江戸麻布新巻住

星位館

岸 鶴 糸 二 乃 隠 一 乃 乃 乃 乃

北 進

主

星 巻 楼

沙 汰 の 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

北 操 女

主

星 威 堂

甲 乃 新 の 水 子 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

北 舞

主 古 所 乃 乃 乃 乃

鼓 乃 乃 乃

人 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

北 吟 子

後 府 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃

後 府 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃

江戸

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃

主 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

乃 乃 乃



江戸湯田川 橋為松

百花園

わの富中 舟亭の舟をくまふ 平々

相良庵

新藤長三郎

積之堂

風流の又舟をくまふ 州の舟 末水

江戸 秋田藩佐向町

西聖 達款

受持舎

試る 舟中 怪の江 文子の突 平也

五通江町

齋 書画文房 好修款 及 筆の聖の長右衛門

濟 因土の舟をくまふ 舟中 舟中 益庵

五通江町 齋 書画文房 好修款 及 筆の聖の長右衛門

福芝富

我々の舟をくまふ 舟中 舟中 舟中 好若

立花の舟

書

嘉道居

小樽の舟をくまふ 舟中 舟中 舟中 蒼富

京四條東川端北の舟中

北村庵

八重の舟をくまふ 舟中 舟中 舟中 杜就

京西二市松葉の舟

大京園居

松 齋

いづれも舟をくまふ 川舟 舟中 舟中 舟中 舟中

ト

舟中



江戸白紙下

方園富

新製の紙千うま〜あつあつ

知州

立高書抄通

黄齋

高〜つらあつ〜白〜海〜梅

杜有

立大徳寺下

書 漆 園

〜中も梅〜けら新〜雪見〜那

蓬義

立大徳寺下二丁目

信教光枝 薺 園

〜雪〜中〜雪〜雪〜のち〜の〜

徳河

立 檜下

可口園

檜の葉中先あつ〜大〜厚の雪

本悦

立 糸橋路下 刻意家 鴻村今八甫成居

糸橋路下記 糸橋路 花 園 易のちよ梅のち

俣裡

立 井田川 東仙子下男 杜崎富

東井田川 春々うら〜る〜子や〜き〜

東川

立 蓬富男 名成義 号

新製を具〜おけ〜る〜中〜

蓬仙



江戸 三谷丁

梓屋橋三巻

松畑茶

提子行 志平 玄 新中 八 新井

東 威

五津田 松中町三丁目

梅沢 友 祐

梅林 舎

長 宗 三平 山 子 好 行 山 路 城

香 鋪

越中 富山人

中田 我

雲 水

歳 杏 亭

宗 子 飛 江 中 志 徳 道 志 平 二 羽 野 翁

相 古

江戸 相 考 所

西 経 路 之 助 雲 肆

豊 折 亭

伊 右 衛 門 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

本 館

下 總 船 橋 九 日 市 橋 考 所

海 屋 長 吉

本 下

久 一 打 子 志 徳 考 所 新 中 三 平 玄 臺

本 若

武 水 五 川 池 四

詩

長 寄

清 三 郎 遠 幸 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

本 珠

江戸 三 谷 丁

津 國 屋 伊 三 郎

梅 居

新 藤 の 口 子 余 考 所 志 平 三 郎

本 文

立 寄 戸

弘 前 房

名 後 章 字 伯 氏

書 西 井 氏 近 寄

平 考 考 所 三 郎 三 郎 三 郎 三 郎

本 堂



江戸吉野

秋架園悟号為

橋生

露乃々秋有今々々秋乃々橋乃乃那

如久女

左 電の居

江口仁市治橋生受 昭和安永長久

冷うけ々々秋乃々乃々乃々乃々乃々乃々

杜乃

下 惣招戸

新井正吉郎

々々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

汁凌

加 沼橋丁

橋田 故

北枝堂

乃乃乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

年風

立 下若木橋通

数学

山本安之進

乃乃乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

橋

藤樹

立 弓谷町内本店

江戸名

甲州屋新萬

二世

金花橋

四 十乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

杜泉

立 橋田久保丁内蔵

橋田 本化

黄菊園

簾 乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

東 蘇

立 八丁橋

熊崎氏 和歌

橋 濟

法 乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々乃々

時 貫



江戸橋本町三丁目 稲屋甚八 鼎舎

友不為 舟中 一泊 舟中 舟中 舟中

夏州盛岡 横濱友平 名弼 字藝憲 書

春の雨 舟中 舟中 舟中 舟中

江戸村四又右衛門 折尾金助 鎌倉彦

舟中 舟中 舟中 舟中 舟中

京雲水 号 春与 北村彦舟

秋の夕 舟中 舟中 舟中 舟中

武蔵川越邊中 大田町 細沼忠義 中野園

海 舟中 舟中 舟中 舟中

武蔵所沢仲町 大冢佐吉男 梅吉聖老字

秋の夕 舟中 舟中 舟中 舟中

江戸幸所橋江 菅若氏 市川菊

梅 舟中 舟中 舟中 舟中

立寄 浪西三丁目 横丁 且立屋 赤坂亭

以と 舟中 舟中 舟中 舟中







江戸系橋折所 山本系清部 松島舎

空々々々 旅人 ぬらりぬらり 船 舟子

立 本所 龜江町 園 吉野舎

梅りの香や 雲をくくく 梅の花 於龍子

立 大名 池 徳守舎 尾形舎 松野舎

山系もや ありけり おく 岩俵 舟子

浪花之人 江戸北新川下 住 住持庵

月夜もや 台新所 雲枝や 舟り 舟子

加前和任之人 故 後号 素園

船部や 地中 雲あふ 舟りのあつさ 千代尼

江戸は雲天三丁 大西氏 画 雲南舎

雲の香子 以々々 山崎 初月 桂年

立橋下 早目 長川氏 業舎 松本舎 住持庵

雲あけり 陸く ありの 舟り 舟子

立 張居橋内 土居舎 廣津氏 解花園

雲あけり 舟子 舟り 舟り 舟子 遅流



江戸下巻

詩

大沼

松榻引 浮酒とけり 春を以て

枕山

立 江戸下巻

大沼

松經舎

多きより ありより ありより ありより

あつ紀女

立 本五丁目

内田氏

四時雨庵

梅の香中 ときく 九月十日 ありより

作臣

立 本五丁目

桑車

大 舟

いかに ありより ありより ありより

中二

立 本五丁目

鬼玉屋坊者

徳田

耳あつて けりより ありより ありより

千成

立 本五丁目

後志居六五郎

翠光園

きり 梅の香中 経のききき ありより

桂着

立 本五丁目

大澤氏坊揚子

春陽舎

月結 ありより ありより ありより

松水

江戸

橋新 舟人

橋

いかに ありより ありより ありより

千成



江戸下谷就泉寺の所

割烹家 田川屋

柳をよむ所の道に花を咲かせる船

恒春寺

立舟庵の序

画

言書

夏に舟り流るる後彫りもく夏舟

千春

立舟庵の序

画

水書

山寺の向や舟り流るる舟の舟

清春

立舟庵の序

門松氏

信仙子

舟り流るる舟の舟り流るる舟の舟

和遠

立舟庵の序

藤内正久

和山

舟り流るる舟の舟り流るる舟

和

并書

江戸下谷天正寺下福家村林氏

伴仙舎

舟り流るる舟の舟り流るる舟

産羽

立舟庵の序

遠州屋仁義

玉因堂

舟り流るる舟の舟り流るる舟

朕筆

立舟庵の序

春香楼

舟り流るる舟の舟り流るる舟

直樹







江戸川之住水府為 後意氏 号獨園翁 又出集 守 僊橋

字之ひびや 伝説のありけり水乃音 橋村

主 三善了四首 法書屋吉翁 画 南平堂

孝之為中より善 正き日もちりも終、 橋 岳

主 三善所 任右店 善翁 省々庵

江戸川のうらうら 船中 飛 雲 桂 友

主 三善所 法書屋吉翁 大石猪三郎 若菜亭

来ぬ人よりよきなり 飯茶る 雨新井 竹 嶺

武州橋樹形神子 無村 横濱庵之助 弘安角

船 白舟 浪うらもも かりき進江 長 園

江戸川西門内 福壽齋 書 馬 洞

橋 渡り 村の名 江戸 吳家より 舟 庵

主 三善所 法書屋 山中

江戸 浪きき 家には 舟より 中 書 六 知 角

主 三善所 法書屋 花中庵

橋より 浪きき 舟 貝 舟 子



下聖國於整頓枋木下町 杉江左衛門 杉江橋

杉江中らまうへーの杉 杉の松 知折

江戸下谷之松極 上葉系為 池田洋平太 交厚舎

上谷より杉をとりて造る 郭 二 弁茶

水耐腐 高橋氏為

多々うけく本の、市中合款の杉 知翠

武州多摩郡秋津御 留他為 小保忠を為 秋津庵

陸より杉をとり根のまゝ海産于此 弁道

江戸秋津四丁目 上書肆

杉のしの森海産と為し秋津御 頂忠堂

越州橋山麓大石小路徑 遠山番為秋津橋居

杉の石を焼くを茶あり杉の山 長嶺

江戸浅草四系町 田村回居 在入吾交二屋室

うすくしをとり杉の石の阿南子 袖為造る ちの女

上野草津 政上

河邊のまきくくぬける 新樹外 竹畑



江戸法喜福井丁

詩書

長山

森のまゝ 晴るるら 終る 暑き日

樗園

五本元町

遊文館 惟孝所

泉豊海

例 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五

長達

武分青梅町

夜半茶室

枕流居

松平の松もさめ 菊のひさし

枕流

近州之彦 居于光の遍照寺 有人 律師 自 澤 字 里 年

学外よ 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

李由

江戸深川中 映 裏 丁

儒

廻

春く 暮り 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

綾瀬

立村松丁

画

高久

古 庭 中 へ 入 り 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

隆古

立 竹 塚 井 寺 丁 南

圖書式画

上 孝 園

雄 飛 中 へ 入 り 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕 夕

林富







難波所長勲修了書

比良城

二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十

林曹

江戸鞠町三丁目 号桂園

近藤

江戸新橋一丁目 号市村の自

良菴

越後新保人

お人書

巻大任

江戸新橋一丁目 号市村の自

菱川

江戸新橋一丁目 号市村の自

お人書

懐東居

江戸新橋一丁目 号市村の自

李華

江戸

桂陰舎の男少年

江戸中校七丁目 号市村の自

隣藩

五

本村

江戸新橋一丁目 号市村の自

六折子

秋田別荘

号桂園

多田氏

江戸中校七丁目 号市村の自

量外

江戸八丁堀番丁

号市村の自

中川

江戸中校七丁目 号市村の自

林南



南徳州天羽郡全盛位

富永能四郎

隆造舎

香雪庵之正月ありき山家也

里孝

江戸田先岩井丁黒川氏業室 在画室 惟子産品

何とて月用定もあつてむの様

良女

羽衣本産品江戸所産品位 倉橋氏 松月庵

江戸子居て江戸終つてき活生也

里南

相州備後

梶口氏

陶雲富

多勢子うけつてる江戸の口さ

折江

五果相子西井 竜洞寺友人 山屋 守

茶のりてて年あつてたはる物あり

折哉

江戸川八幡境内

華車

台任庵

押水もきつてる方 山居は為り申

了白

茶全はあつ丁

字井氏

圃亭亭

茶のり中 月をぬりたるのさけ 相

折壺

江戸は茶前茶の代地

相撲取

小折長吉

多き〜のり茶もあつる

龍の那

縁子



江戸龍友庵 杉山樵齋 月中庵

露の葉を 雨は乾く 火は焼く 良老

相成時立次 鴨立井

川越えく 古おろろ 新乙名作 立字

下徳翁伴那園分村 粟山斎斎 雲林城 三世 不易庵

生のつるを せくろろきや 梅下月 燦堂

江戸本所 画 井立斎

入道と 入道 菊のよきと けしき 梅下月 梅下月

立休川石間松富 通称松本正成 其常庵

又おれも 蒼きつる 桂の事 粟く

立休川菱六内 五折庵

おれと 春の 歌 千の事 けしき 折庵

善作正井伝五 ね慈庵

流の音 高きと けしき 花の事 折庵

江戸本所 画 永井氏

古家 けしき 折の事 けしき 夜の月 林界



上総在堂

大野信吉

之を有記の録もくはし一子決のむ

折燈

下総今村

福本信吉

曙院店

本ころ身ても者もほのりあり跡るむ

立形

江戸の本橋教寺在丁 田原忠太郎 春曉庵

之を法書くころよまのまを白

折紙

越前海

石相彦吉

秋田守

字難をくふるむとるのゆかり

林外

豊前小倉在江戸 上部 新井氏

克富

清きまををむりりありあ福介

笠園

江戸本園折橋 石原守太郎在 文會樓

記くのあつたうけを折紙うけ

折紙

立舟子

在 在 在

在 在

吸露庵

空の故のあや一節いもつる

深袋

立舟子新巻

板交

林 厚

立舟子新巻 燈まく下まを在 堂

立舟子



秋後之園再其後利家 櫻鬼橋

つるのけりつるのけり 秋のさくら里

谷谷 櫻川 和田氏画 賞齋 櫻門

うさひらうさひら 秋のさくら里

後向伊多伊多 菅井氏画 可笑齋 里州

あまあま 秋のさくら里

同園同園 秋のさくら里 春曉洞

初初 金百金百 秋のさくら里

江戸江戸 秋のさくら里 画 齋藤

秋のさくら里

文文 秋のさくら里 春日葬

乙乙 秋のさくら里

立立 秋のさくら里 千代田権授

梅梅 秋のさくら里 凌雲

上上 秋のさくら里 夜笠

ああ 秋のさくら里 林齋



夏川又

後色江七

家々居

本所ノ古き、浄代家系代平所懐 六槐

江戸十軒店

丸屋考為女主人 梅壺堂

水音もよき、字もよき、月 折枝尾

立寄所一丁目

兼子

兼屋

あつを先うらなり、古の書 利平

上柳町本門天祥表の前 名茶字子基 湯本堂之部 儒堂克己堂

鳴呼々々、字も外もよき、冬 折外

江戸金屋極

沢井氏

和張園

かろ〜、中水、家の梅の玉 折月

立寄所二丁目

主人

無屋

古為々々、白二日、花子、うら 折字

立寄所三丁目

書 徳山氏 義齋

り、花、白、ら、ら、古、々、々、交、の、月 純岱

立寄所

菊香香白粉

洋福臨之味線 号

折、無、の、月、年、つ、く、家、や、梅、の、玉 折向







越後水車

和泉屋右衛門屋

壹具庵

築くくは針塚平おきる業多小 乙良

江戸赤坂

且暮葬

この世にわれは終り成りし細島 乙雄

土師屋吉誠 社田合藩 佐藤氏 酒言富

丸く成る長くもあがりくき芋の露 於菟丸

筑前博多掛町

亀屋藤平

山崎

お松をふの 橋のくくぬきまき白小 乙 國

江戸舟菱橋

殺州月岡善法所

司好

森安よりく成るくくお小子多小 音丸

相模浦賀

大久保到司号船柳軒  
又森甲店

潜堂

舟子舟も多音中 紙名の羅おし 乙居

浪花人 學物所定飛所崎屋 有人 田 國

木のくきえんお親仁く者うのく小 大江丸

江戸

菊小

玉齋堂

猪の起くけのぬき小 女多小 大井



江戸元坂四町中坂上表里道

稲富流  
丸  
街

末高

吉野軒や日らるる月をさるる生

菊矢子

土橋場町石橋 赤川民抱郵理金令社 十時庵

本庄寺の落々 月たりる町一り申

乙意

江戸東馬道

茶子

武守

留りの宿子 乙らるる申 雨の如月を

和合

伊豆川津元屋町

蓮の空着

空海守

古道に於て古きれ 空しく月をさるる

和光

江戸神田橋

平岡屋

吉東津左衛門

いと中なるきり日ちりり 望は古きれ

和松

燈台の巻

有人

柚葉

有ははるる 空しく月をさるる

日人



江戸新吉原浮世町二丁目

鶴泉橋

初春のやぶらぎの道に花をまきしる

若草

武州板橋沢 平野屋 飯田権十郎 雪舟庵

玉子巻 燈籠を字に似せしむ

和耕

尾陽名古屋

有人

樞本堂

茶室に花を清く咲けしむ

茶写

江戸目白庵

画 石 齋

二葉草の白風しりけをのま

翠林

信州戸倉人 有人 晴立庵主 席杖庵

十月半（注）の月夜の松をん像

菊之

江戸原丁 田中氏 新嘉亭

冬りの白柴折らるる雪を写す

山崎女子



加高橋町

住持 田

立世 趙 翠 堂

けいじんをまき子好なり 杜 江 波

江戸 井田 九新 丁

加高橋 字 三浦 町

円 空 年 先 々 々 中 橋 々 々 々 江 波

立世 三浦 井田 丁 丁 目

画

顯 出 高

世の中 子 々 々 々 々 冬 露 一 位

下高橋 字 本 高 上 付 丁

水 意

き 々 々 けい じん を ま き 子 好 な り 杜 江 波

江戸 八丁 姓

河州 藩 書

立世 松 林

うら ぬ け の 枝 々 々 々 々 音 音 音 音 音 暎 岩

立 友 彦

雲 々

明 月 中 江 月 々 々 々 々 水 々 々 々 洞 翠

立世 橋 南 津 井 丁

立世 松 林 書

立世 山 氏 松 林 書

音 々 々 々 々 々 々 々 中 橋 々 々 々 関 里

立世 高 野 町 院 生 院

草 々

音 々 々 々 々 々 々 々 部 々 々 玉 那

カ

三



江戸

喜多子庵

見よき春ぬ山守のくちや喜の月

香陰

主 喜多子新下水 吉中豊治殿 楊 堂

来りて人を来りて春の月の 志かき作

香村

主 喜多子 喜高齋 画 喜多子定四郎

主のさぬぬはさうのさぬぬ 志かき作

寂山

主 恒吉町 花狂氏画 南 堂

外より信者より信者より 果ては

行色

主 下管庄所 画 鈴木雄

作 梅の結りようなる 折千代

琴湖

主 妙子南の道所 結回屋新三郎 院 弄 齋

らふれ丹のさぬぬのさぬぬ 志かき作

寂自

主 前大村 堀江喜悦 藤川居

海山の照光のさぬぬ 初子水

香堂

主 妙子下 林氏 月乙庵

主 妙子のさぬぬのさぬぬのさぬぬ

江年

力

三







如所查及上今所 馬田信吉 白木社

中久くくくおん 杉野中むしる考 柯火

江戸 一友歌庵

唐より南のつらぬちりゆる葬り 考 考

中武義入向郡上吾と考 比留宮折菰 考 葬

工室部中 考くくく 沼を考くく 考 松

下総千葉経住 増院庵

姓末もくくく用くく 考の考中 考 可 考

下総千葉宮持末 考七部 清 宮

山々名々 田植の例くく 考り考あり 交水

江戸 井 考舎

考り考くく 考くく 考くく 考くく 海了

保安清築地所 能中氏 考考考考 考 西屋

考中 仲の 考中も 考考くく 考 雅琴

武河肥能治了 北野考考 考 園

考くく 考考くく 考考考考 考考 考 考

カ

五











主村松形 柳刀遊所 若嶽金務屋 月光茶

月之影を山に映し 清れぬ心乃の如 勝凡

主湯島四丁目 堂 國氏 墨麿亭

清くもあつくも 香けぬ柿の敷 海山

主新橋二丁目 折川西菴 才輪舎

柳雲よ落をうりの 翠くありぬ 裁自

主所學二王侯内 堂 張城繁

くく落すも所を 移の心 甘泉

主日本橋茅町 かゝり表

文斜や 田毎をりのく 空の月 栢木

主前 新吾新左衛門 謡 藤雲舎

くくく人 紅糸結の結 也梅の心 耕雪

江戸上野 善門院 上杉氏 画 雪 壺

秋のくも 雲をい川を石 露の花 果 峨

主八丁堀 夜雪庵

け秋や 老の心よ 風をくく 江山







阿丹格古四新了 油屋津波為故人 元日葬 一車雙

字煉りし神やまゝに水に流る 架風

江戸流るる家代地 刻意家

川看子ころろのまありのまありのまあり 川長

立石所三丁目新居 京師の人 家相宮位松浦

お新右のまありのまありのまありのまあり 幸年

佐丹相川長傳了 竹本良茂 画号 卷一又 号性勝 篆刻号本生 儼州彦

けい蔵しるるにけい蔵はまゝに 雲昇

江戸流るる新極標香檜 榮酒清

日の影を空へまゝに梅白し 戦松

立石所枝本町 傍田氏流居 國字流居物流歌 奥字流居頼曲 千種彦 今号宗文

流るるまゝに流るるまゝに 初時白 果齋

花樹仲之町 春四橋

右のまゝに流るるまゝに 時白並 水月女

越後古志郡長岡郡通三丁目 高松十葉門 明暖彦

ろくろくし終りるるまゝに 郭公 好輝



江戸安針町 遠洲屋新七 別号射虎富折 志

たつと素々 推しよるや 汗ぬるひ 白鳥

主 因忍藩 以医為業 原田孫吉

ちるぬるもあつるや 筑よりや 萩の古 露岡

主 屏之河門外 書 百園七藏

人多しをたすをたす 並常は古用子 金子氏

主 本所相生町五丁目 高井氏 抱泉楼

樹々もこれ白ひふらふら 然月 露山

江戸花街 榎店 翠谷

志多し 廊下のすけりて ありて 未言

主 本所丸町 子高齋 有芳

船のこもむるひをうける 涼るは 無年

主 浅草所見所内 楊弓射場 隈了舎

粧も山もさき世の千 秋は月夜は 了了遊

主 四谷忍系様下 真下壽之丞 藤景堂

朝も出る朝の 夕も花の庭 未丸

三

一



江戸本所 寺屋敷

津田

あつた日下 江戸の住みかき 一 初 厩

吉尾如

立

狂歌 友人

希 橋本新

無受

古 漢 葬

守 之 身 正 自 也 新 之 寺

末 寺

之 所 同 崎

友人

書 之 受

字 之 山 寺 也 書 之 居 之 公 也 寺 之 高

卓 池

か 所 寺 法

十 丈 園

由 之 寺 之 住 之 門 之 師 也

寺 丈

江戸

毛利氏

有 序 庵

初 秋 中 田 下 寺 之 付 一 所 之 寺

大 墓

立

友 知 庵

森 田 氏

一 之 富

城 之 和 月 寺 正 月 之 付 之 寺

垣 之



江戸茶研極

孤山堂

古来の竹をきく織の端や栴の毛

卓部

立 杉の森

大外系式

函若産

高の山く何千 定多終 絶牛

大尾

立 糸橋船泊丁

小林助平

外統産

さとりり 何く 耳の 妙終 一 遠 姓

栴白

有於盛岡山田浦

中洞後巻巻

方寸産

古終らや 妙終り 一 博 一 終 終 終 終

卓産

下毛美羽津法寺斎宮

栴壹守

一 科 終 一 終 一 終 一 終 一 終 一 終

大 熾

江戸下谷終極中巻

曲洞政吉

古終らや 妙終り 一 博 一 終 終 終 終

栴 雅

東奥白川

川終文助

関山栴

骨 一 終 一 終 一 終 一 終 一 終 一 終

栴 月

江戸古終極中巻

撃 級

糸終終之産

枝 終 一 終 一 終 一 終 一 終 一 終

團 雅

夕

三



下徳和格九布

大野氏

惟忠堂

遠海平日結出於雲の初霧 大乃

江戸桶丁 東寅居

明うらる柳をうらうら 何となく 大鵬

立し春の在園流 画 岸鼎次

分入進き刀なる人も居る方りさる 古年

成州多摩郡八尋千人所 号厚志 少井流次郎 天と亭

新巻や格紙の白きくさくら 布 柳清

糸四糸通鳥丸西入 花 守

かき岩の海も流るるうらうら 岱年

立し春の流ぬ光寺古 櫻井氏 相恋新

いさよもなき坂下りうらうら 清彦

葉浪空川 市宗元助 晴露庵

さきくうらる梅もあはれ 木村屋外 多代女

江戸大徳寺の二首 幼有藤の 村田氏

いさうらるるの如きうらうら 大劫



江戸池之端仲丁 赤大馬屋伊助 安 為

船夕の積舟を多しし初為 大 政

立本台平目 赤大馬屋字為盛庵

丁移三つろのわきく平為作 大 夢

立 芥場丁 業医信秋 渡邊東林

山々乃建ちしるるわきく平為作 言 見

後為立江戸裏ヶ突 上村氏 号子温 吾能庵

茶一立 字く居あつてくわくわく 大 笑

枘舟伊丹 海造 徳屋為島 標 園

移さくく人形き寄仕小寺新井 退 歩

立 海造 山口書房 外 雲

只る移さく寄七 海川 寺く仕 水 右 乙

管上程慶為書 書 喜泉寺 五二道人

おろひ中く寄帳塔入 白粉の那 成 河

立下谷 田中梅造 北海亭

川燈の消えそ暮のくく松永介 泰 山



江戸外田九折丁

加賀屋を為す

古世成道中 廣心世界の道 あり人

多田尾

立本丁

友人

小築翁

似くむの道う あり人 築子花

唯 炭

戸

友人

大梅居

このころを 四の志 築子 梅居 戸

大 梅

立本丁 築翁 大田屋 八千歳屋

遠くも あり人 あり人 あり人 あり人

大 梅

立本丁の目

書号 五五

吾石堂

初ての 別を あり人 あり人 あり人 あり人

大 梅

立本丁

書号 五五

吾石堂

海うけ あり人 あり人 あり人 あり人

大 梅

立本丁 築翁

友人

大梅居

駒子 あり人 あり人 あり人 あり人

大 梅

下総 築翁

友人

大梅居

駒子 あり人 あり人 あり人 あり人

大 梅



江守傳子也の道 杉江清六 松田翁

見入道子松平一ツ松替一ツ那 古凌

主 人形子 南田 松物所 瓢 葺

そゆり子中より松物所見入るる道 稚丸

主 高田田所子 如松屋 兜陰舎

松とも一ツ人一ツる松あり一ツる松あり 院女

武守も松子 多松松屋 一南井

わく松のしりも道子も松屋一ツる松あり 大野

羽守松園山玉前 研問五家室

松屋一ツ松多香のしりも松屋子 清遊

豊守子松子松 有 嶺

年あり一ツ松多香のしりも松屋子 大市

同園松屋松 内田松屋 二松屋

中々の松子も松多香のしりも松屋子 徳秀

江戸富松屋 江口仁平治 傳松 有松園

松多香のしりも松多香のしりも松屋子 忠房

松多香のしりも松多香のしりも松屋子



江戸為國本居

茶山居

西山を夕日のけりて中へ青川の時白

松子喜

江戸

友人 儒 惟を産見 志川

これ海をくちねてのさきの子まのけり

陶山

立海学極田系

志屋吉野部 友人 折 亨

子深山のさきと服の境 海

種彦

立 言 亨

山崎氏 友人 徳山亨

唐の道もあを川を菊の先

田自

立橋樹歌大豆村

惟橋忠為

惺自園

けけけのさきと 鶴は眼のけり水

短長

江戸下若橋路

書

曲淵政吉

歳年を疎作かき 葎の路

松雅

江戸為國本居

船宿 葎年

三浦屋

白 舟 女

舟女







武井宗川

石崎左源六

聖貞

松尾のり子 妻の白子 娘を梅白

梅白

江戸浮世小路

辻川

門松中由のり子 娘を大

大金

江戸 小倉藩

信國

南谷中一 妻を梅白 娘を

泰菴

主 高橋宗次 三子目

高橋氏

燈籠の形の白子 娘を

高橋

江戸浮川

右人

三世

雪中庵

右 雪中庵 妻を梅白 娘を

梅白

江戸

右人

八雲園

最川のさき 妻を梅白 娘を

家松

鎌倉沼津仲々

藤田五郎

権五郎

名 藤田五郎 妻を梅白 娘を

連山

近江粟津

義仲寺

浅沼のり子 妻を梅白 娘を

松山



江戸橋丁

橋園

有物を投すはたきくはるはたき

文 津川八幡橋 多う 雪 峰

山住もきくはるはたきくはるはたき

文 津川石橋 本井均卿女 清平書画

新しき 橋中 庵中 草子 文

文 江戸川 名寄字守之良氏詩文書画小松富

字のしきもきくはるはたきくはるはたき

武蔵文大宮前

大正屋海平治

交 暉 庵

水邊とくもきくはるはたきくはるはたき

江戸平橋書

花 橋

杜中々ありくはるはたきくはるはたき

文 津川石橋

中村書画

和歌号

三葉園一葉 松橋標盧

字のしきもきくはるはたきくはるはたき

文 津川石橋

本草家

河 於 友 進

秋の初や 草子 文

山

二

標 園















江戸本名丁四丁目

有友斎

自代千雲のころも数時申の那 宗川

足利田島と沈馬山所談山形真画 甚 為

少川ううと州小蒼平おの梅 素真

立下岩和泉橋通 茶事一 為 西

多結古中へふも分けず活解る 宗友

桑州女道郡本宮集所 近江屋 玉令新

桑州の紀本魚の音也 露時雨 疎 吟

桑州本宮集所 浦井氏 隈閑橋

寺々一 源中一 表宮一 本宮一 小松系 素交

江戸上坂卒 中西要助 一連日園

ふたの舟歌の往々遊々もや字の表 素風

江戸本名所集所 千家素斎の号梅庵年井

冬風往河千の遊門梅の表 宗三

立下岩和泉橋通 名茶店 福壽寺 松の庵

桑州のころも数時申の那 宗川







立下吾序成道

極口氏

相康字

我身一人足尚一男を以て外

於身推

立赤阪徑

有之舎

けし病り多きを家中菊の古

菊古

立津川字橋

相撲取

吾家

初相急後生々々少く少く

級山

立洲市船戸

相橋金吾康依号津川字

内道好く白雨古名を道りたり

常丸



江戸花街

甲子橋

いとうちうちうち橋うちせう云々橋 善之助

江戸南橋所

惟然堂

らら平秋の月影の地や古牙香 念々

下總國墨田郡古岡本新田 岡野十郎為 沼月葬

青柳ややうきももははらり 根性

江戸

名人画

春本

誰か〜や善る時宙の〜も〜 南船

三花街本村道 大和屋又七

〜葬

思ふ〜の口を善る〜も〜橋う那 南松

後河田上村

市川治郎左衛門

千草庵

何れも〜る〜は〜る〜冬籠 南桂

江戸花街

名人

自後社

字ら花は中時坊を〜に蘇はる〜 何丸



江戸

桂隠舎

子乙女やをく大端形の面衣より 南柯

五 元禄町 画 祐野蓬川流

を平いつこくおきあのめんまの面 中信

五 下吾宿町 刀殿治 莊目茶湯ぬ

桐子やうのちゆる ちきり川 直胤

桑州盛園川口 阿弥屋新巻 清月庵

清家より兄情手くる 桐乃也 南江

信長義前

小玉屋持巻

祇南翁

買の代は頼のつら 夢の春の海 南枝

五 本橋町四丁目 画 春本氏 耕雲堂

四海を名只舟のあせやう 於秋巻 南溟

五 芝口新橋金巻新巻 画 松山氏

くちのり一巻よき 右んりぬ 南亭

五 本町中六 中々巻

守江の好書字より 水務所 南燈め



江戸品川斎紋頭

詩

八木庄九郎

夕空や妻のうらみ脊戸の月照り

南臺

主 山吾橋辺

友人

相林舎

嫁のふれなきよきその秋や雪のふり

直人

又 井田子外茶研堂偶存

是 雅

結 然となくもさきほ 落葉秋

南瓜

主 本橋町四丁目

画

春 木

四五日くいのちもあやも雨後の枝

南島

江戸代酒の原田が属

福永源流

傳 秋

月よりのしほ連も雪平の雪

相 雪

主 新橋の友町

竹

月よりのしほ連も雪平の雪

長 秋

江戸代酒の原田が属

雪 平

雪 平

月よりのしほ連も雪平の雪

中 川

江戸代酒の原田が属

劇 今 仙 象 遊 房 定

江戸 鶴 屋

浪も海子あはれんる雪のほろ

南 北



20  
15000

八勝堂書店

池袋西口(981)1870

下鶴古河

吾河産育人

此書は古河の著者による仙臺の古河の集

南唯

江戸幕府

画

松象

江戸幕府の著者による仙臺の古河の集

南澤翁

立 長後町

池澤翁 社務

江戸幕府の著者による仙臺の古河の集

魚村

立 仙臺福井町二月

板倉屋林吉雲の西多氏  
別号屋字軒又齋 権月翁

江戸幕府の著者による仙臺の古河の集

南汀



